



光学式
Opt.

MA-3HUシリーズ

最初に
ご確認ください。

セット内容

オプトコンフォート 1台
取扱説明書 1部

本取扱い説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、当社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

1	目次
2	はじめに
	警告
	・テレビ/ラジオの受信障害について
	・注意
3	対応機種
4	接続する前に必ずお読みください。
	・本製品をUSBポート接続する際の注意
	・BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合
	・内蔵ポインティングデバイスの切り離し(PS/2接続の場合)
5	マウスの接続
	・USBマウスポート接続の場合
	・PS/2マウスポート接続の場合
9	本製品の使用方法
	・左ボタン・右ボタン
	・ホイール(スクロール)
10	・ホイールボタン(スクロールボタン)
	・ズーム

はじめに

このたびは、オプトコンフォート をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品は、ボールを使わないオプティカル方式(光学式)のマウスです。通常の使い方にプラスして、ひざの上などでも操作が行えるので、様々なシーンで威力を発揮します。ボールを使わないので、テリやホコリがたまってボールの動きがスムーズでないといったことがない、メンテナンスフリー構造になっています。

本製品は、マウスのホイールボタン(スクロールボタン)を回転、クリックするだけで、Windows上で簡単に画面スクロール等が行えます。またMicrosoft IntelliMouse機能に対応していますので、MS Office 97のようにIntelliMouse機能を持っているアプリケーションであれば、幅広いナビゲーション(スクロール、オートスクロール、データズームなど)が行えます。

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。



警告

テレビ/ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認いただけます。電源を切ることで受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。

テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しにくい位置を探してみてください。

テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。

テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。

状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

注意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

対応機種

Windows搭載パソコン

各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ、IBM PC、Aptiva、Think Padシリーズ
Apple iMac、iBook、Power Mac G4/G3シリーズ
USBポート(Aタイプコネクタ)もしくはPS/2マウスポートを持つ機種。
PS/2インターフェースでご使用の際は、別売りのPS/2変換アダプタ(MA-50AD)が必要となります。
PS/2接続の場合は、内蔵ポインティングデバイスとの併用はできません。内蔵ポインティングデバイスを使わない様に設定できない場合は、USB接続してください。

対応OS

USB:Windows XP・2000・Me・98SE・98及びMac OS X(10.2以降)
Mac OS X(10.2以降)は、標準インストールされているInternet Explorer、Mail、テキストパッド及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。またホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。
Mac OS 8.6～9.2.2でご使用の際は、当社ホームページ <http://www.sanwa.co.jp/> よりドライバをダウンロードしてください。

別売りのPS/2変換アダプタ(MA-50AD)使用時

PS/2:Windows XP・2000・Me・98SE 1・98 1・95 1・NT4.0(SP3以降) 1

1 IntelliMouse機能(Office 97など)を持たないアプリケーションでスクロール機能をご使用になられる場合は、当社ホームページ<http://www.sanwa.co.jp/> よりドライバをダウンロードしてください。

機種により対応できないものもあります。

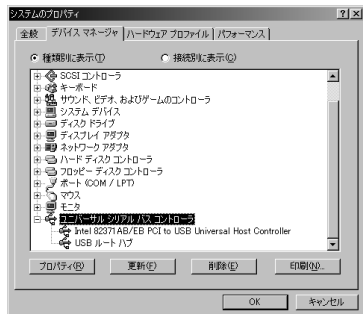
この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

接続する前に必ずお読みください。

本製品をUSBポート接続する際の注意(USB接続の場合)

本製品はWindows等において自動認識され使用可能となります。もし、本製品が正常に動作しない場合、USBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」「設定(S)」「コントロールパネル(C)」「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェイスの正常な動作状況です。USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の場合もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

BIOS上でUSBがdisable(ディセーブル=無効)になっている場合(USB接続の場合)

BIOS上のUSBをenable(有効)にしてください。通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが、詳細な設定については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

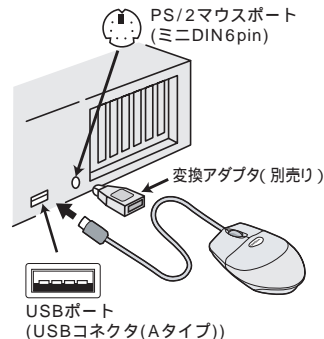
マウスの接続

重要:マウスを接続する前にアプリケーション(ウイルス検知ソフトなどの常駐ファイル)を終了させておくことをお薦めします。

本製品はUSBインターフェイス及びPS/2マウスインターフェイス(別売USB-PS/2変換アダプタ(MA-50 AD)使用時)に対応したコンボタイプのマウスですので、接続には二通りの方法があります。

- ・USBインターフェイスによる接続
 - 1.コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。
 - 2.本製品をコンピュータのUSBポートに接続します。
 - 3.詳細な設定は設定6ページを参照してください。

- ・PS/2マウスポートによる接続
PS/2マウスポート接続の場合、注意することがありますので、8ページを参照の上接続してください。
 - 1.コンピュータの電源を切ってください。
 - 2.コンピュータに接続されているマウスが他にもあれば、取り外してください。
 - 3.別売りの変換アダプタを使用して、本製品をコンピュータのPS/2マウスポートに接続します。
 - 4.コンピュータの電源を入れ、Windowsを起動させます。



詳細な設定については、後ほど説明します。接続の際、コネクタには上下がありますので注意してください。

一部の富士通FMVノート、IBM ThinkPadなどポインティングデバイス内蔵の一部のノートパソコン(排他制御機能のないタイプ)及びNEC PC98-NXデスクトップパソコンなど(USBキーボードにPS/2マウスポートが付いているパソコン)には、USBポート接続により対応しています。マウスをパソコンに接続した際、マウス裏面のLEDが3回発光しますので、その間はマウスを動かさないでください。

マウスの接続 (続き)

USBマウスポート接続の場合

- 1) コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。
- 2) 本製品をコンピュータのUSBポートに接続します。
- 3) 自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。インストール作業中は、マウスを動かさないでください。
- 4) あとは画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。

Windows XP・2000・Meは下記のインストール方法と多少異なり、タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

新しいハードウェアの追加ウィザード



新しいドライバを検索しています。
USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 次へ



検索方法を選択してください。
●使用中のデバイスに最適なドライバを検索する
(推奨)----- 次へ

6

マウスの接続 (続き)



新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。
チェックボックスにチェックマーク(✓)を
入れずに----- 次へ
もし検索場所を聞いてきたら
✓ 検索場所の設定(L)

C:\WINDOWS\INF もしくは、
C:\WINDOWS\OPTIONS\CABS
もし、上記の検索場所でドライバが見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindows Me等のCD-ROMを挿入し、
✓ CD-ROMドライブ(C)にチェックを付けてください。



次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 次へ



USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 完了

7

マウスの接続 (続き)

PS/2マウスポート接続の場合

マウスを接続する前に、内蔵ポインティングデバイスを切り離してください。

タッチパッド等のポインティングデバイスは、外付けPS/2スクロールマウスと併用することはできません。代表的な設定の例を下記にて説明しますが、詳細につきましては、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。

NEC PC98-NXシリーズ・富士通 FMV-BIBLOシリーズ・SHARP Mebiusシリーズの場合

1. 起動時、NEC ロゴ等が表示されている時に「F2」キーを押してください。
2. 詳細 NXパッドを自動にしてください。

以前の機種では、使用する/使用しないの選択項目になっていますので、「使用しない」にしてください。

ソニー VAIOシリーズの場合

コントロールパネル Notebook Setupにてタッチパッドを使用しないように設定してください。

東芝 Dynabookシリーズの場合

スタート プログラム 東芝ユーティリティあるいは、

ハードウェアセットアップ ハードオプション ポインティング装置で自動あるいはオフにしてください。

IBM ThinkPadシリーズの場合

ThinkPadユーティリティでトラックポイントを使用しないに設定してください。

コンピュータの電源を切ってください。

コンピュータに接続されているマウスが他にもあれば、取り外してください。

別売りの変換アダプタを使用して、本製品をコンピュータのPS/2マウスポートに接続します。 接続方法については5ページを参照してください。

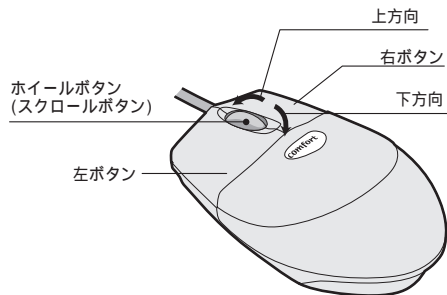
コンピュータの電源を入れ、Windowsを起動させます。

これでマウスは使えるようになりました。

本製品の使用方法

本製品にはホイールコントロール(ホイールそのものが回転し、スクロールなどの操作が行えます。)機能が付いており、マウスから直接スクロールすることができますので、Windows上でよりマウス操作が楽に行えるようになります。

本製品は、Microsoft IntelliMouse互換機能も持っていますので、MS-OFFICE 97のようにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、幅広いナビゲーション(スクロール、オートスクロール、ズームなど)が行えます。



左ボタン・右ボタン

左ボタンには通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行いますし、またポップアップメニューの表示もすることができます。左利きの方などは「マウスのプロパティ」の中「ボタンの選択(B)」で、お好みに合わせて変更可能です。

ホイール(スクロール)

インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて使います。

■ 本製品の使用方法 (続き)

ホイールボタン(スクロールボタン)

インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。

このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

ズーム

ズームはMicrosoft IntelliMouse の通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。

「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回させると、倍率が上がります。

「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。